

**製品名: VHR ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19791**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	21kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DUSP3
別名	DUSP3; VHR; Dual specificity protein phosphatase 3; Dual specificity protein phosphatase VHR; Vaccinia H1-related phosphatase; VHR
遺伝子 ID	1845.0
SwissProt ID	P51452
免疫原	抗血清は、ヒト DUSP3 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 136-185

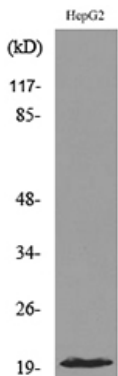
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーのメンバーです。これらのホスファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することにより、標的キナーゼを不活性化します。また、細胞の増殖と分化に関連するマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼスーパーファミリーのメンバー (MAPK/ERK、SAPK/JNK、p38) を負に制御します。二重特異性ホスファターゼファミリーの異なるメンバーは、様々な MAP キナーゼに対して異なる基質特異性を示し、組織分布と細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子は、乳がんおよび卵巣がんの感受性を付与する BRCA1 遺伝子座を含む領域にマッピングされます。DUSP3 は乳腺組織と卵巣組織の両方で発現しているが、乳腺における変異スクリーニングでは、触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。、触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。、機能: このタンパク質は、チロシンタンパク質リン酸とセリンタンパク質リン酸の両方に対して活性を示す。、類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。、類似性: 1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。、

## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

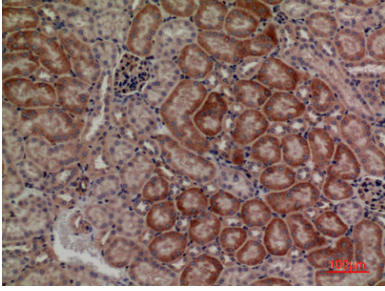
## 画像データ



DUSP3 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



VHR ポリクローナル抗体を使用した HepG2 細胞のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された